

で、砂洲は(二)のほかは圖示されてゐない。(一)は寶曆治水前で(二)は寶曆治水後であるが、地形に大した變化はないが(三)に至つて餘程整頓されてゐる。(未完)

## 世界戦後の地名考 (十)

### 瀧川規一

**アジエガル**(Ajigarh)。中部印度に於けるブンデルカンド(Bundelkhand)の土人の一州。アラハバッド(Allahabad)の西南西一三〇哩の處にある。丘陵上に九世紀の要塞があり今日では廢墟となれるジャイナ(Jain耆那)教の殿堂があるにより州名となつてゐる。要塞の北の麓にはノーシャル(Nausahr)と稱するラジャ(Rajah)の邸宅がある。面積八〇〇平方哩であり人口八萬七千餘。

**アジヤンタ**(Ajanta) 又は Adjunta)。印度ハイデラバド(Hyderabad)にある村落及び谿谷。

谿谷には紀元前二〇〇年より紀元前六〇〇年に亘る岩窟佛寺があり壁畫があるのが有名である。

**アジメール**(Ajmer)。印度ラジプタナ(Rajputana)のアジメール・メルワラ(Ajmer Merwara)と稱する英領の一州の首府。風景佳にして低地にあり鐵道によりアグラ(Agra)の西二二八哩の地點にある。タラガール山(Taragarh Hill)の麓にあり丘上にはアクバル(Akbar)によつて建てられた要塞がある。要塞を繞らすに城壁があり五つの門がある。美麗なるジャイナ

教の殿堂の遺跡があり今日では回教のモスクに變へられてゐる。また十三世紀の回教の聖徒クワジヤ(Kwaja)の墓がある。アジメールは鐵道工場があり木綿、鹽及び阿片を輸出し染色業に特色をもつてゐる。人口十一萬三千五百餘。

**アカバー(Akaban)**。アラビアの都會及び灣。灣は紅海の東北の入江にありサイナイ(Sinai)とアラビアとの間に位する。聖書にてイーラス(Elath)と稱せられる土地であり羅馬人がイラナ(Aelana)と云つた處である。埃及からメッカ(Mecca)へ參詣する巡禮の道程にあるが、一九一七年アラビア人によつて土其古人の手から奪取された。

**アカルコト(Akalkot)**。印度の土人の一州。ボムベイ(Bombay)の行政管區内にあり面積四九八平方哩である。農業及び機械業が行はれ、アカルコトはその首府である。州の人口八萬三千餘。首府の人口は略一萬九千。

**エークマン・ストリート(Akeman Street)**。

英蘭にある羅馬人の建設した道路であつて、シセタ(Chreicester)にあるフォッス道路(Fosse Way)を去りテムズ河畔の低地を周廻しトリング(Tring)に於てイツクニールド道路(Icknield Way)を横切り、セイント・オルバンヌ(St. Albans)のウォットリング通り(Watling Street)に合し倫敦に至るものである。この道路はバンス(Bath)より倫敦に至るシルチェスタ(Silchester)街道の代用道路である。

**アケルマン(Akeman, Akkerman 又は Akierman)**。ルマニアの都會。ヅニーステル(Dniester)河口にあり黒海に近くオデッサ(Odessa)の南三〇哩にある。輸出品は葡萄・鹽魚類・獸脂及び羊毛である。一八二六年には露土協約がこの地に於て協定された。人口四萬餘。

**アツカド(Akkad)**。古代のメソポタミアの都會。創世紀に書かれてゐるアツカド(Accad)でありセミチック族以前の紀元前約二八〇〇年頃のサルゴン(Sargon)一世の首府アガデ(Agade)

と同一なることを證明された。一九一七年—一九一九年に至る間に於て發掘された結果この都會は所謂庭園市 (Garden City) であつてチグリス (Tigris) 河の左岸に沿うて二十哩間の延長のあつたことが判明した。

**アクロン (Akron)。** 北米合衆國オハイオ (Ohio) 州サムミット (Summit) 郡の首府。オハイオ運河の河畔にありクリーヴランド (Cleveland) の南南東三六哩の地點にあつて石炭鑛區の都會である。鐵道の便宜しくゴム業及び印刷業の中心でありこれ等の産業發達の結果一九一〇年より一九三〇年に至る間に於て急速に人口の増加を見た。他の製産品は器械類陶器類であり工場用白粉はキユハボガ (Cuyahoga) 河から得られる。一九一三年に總合大學が建設されブフテル・コレッチ (Buchtel College) がその中心をなしてゐる。町そのものは一八二五年以來のものである。人口二十萬八千餘。

**アラバマーマ (Alabama)。** 北米合衆國の南部諸

州の一。面積五一、九九八平方哩。主要河流はアラバマーマ河であつて長さ三一二哩。州の灌溉はこの主要河以外にテネシー (Tennessee) 河によつても灌溉され州の全幅を貫いてゐる。アラバマーマ州は廣き低地より成り大部分耕作地である。南部には廣き森林地帯があり貴重なる木材を産す。東北部は丘陵地帯である。

東南隅には廣大なる綿花產出地帯があり極めて肥沃なる地質である。昔はこの地帯に於て奴隸制度が最も頑強に固執された處である。州の主要産業は農業であり人口は農村の人々より成つてゐる。玉蜀黍は主要なる穀類作物であり綿花・糧秣オーツ麥・馬鈴薯・小麥・砂糖・桃類・煙草・米をも産す。石炭及び銑鐵も多量に採掘される。また北米合衆國の結晶墨鉛の全額の六割を産しその中心地方はアッシュランド (Ashland) である。總合大學であるアラバマーマ大學は州の主要教育施設である。

首要都會にはバーミングハム (Birmingham)

があり鐵及び鋼鐵器製造の中心地でありモビー  
ル (Mobile) は唯一の海港でありモントゴメリ  
(Montgomery) は首府である。一九二〇年の人  
口は二、三四八、一七四人でありそのうち一、四  
四七、〇三二は白人である。一九二八年の調査  
にては二、五七三、〇〇〇人である。アラバマ  
に來た最初の探險者は西班牙人であつて一五三  
九年にデ・ソト (Do Soto) が來た。一七〇二年  
に佛蘭人が殖民し一七六三年に英國に割讓され  
漸次合衆國に併合された。

アレー (Alais)。佛蘭西の都會であつてガール  
(Gard) 縣にある。ガルドン (Gardon) 河畔にあ  
りセゼンヌ (Cévennes) 山脈の麓にありニー  
ム (Nîmes) の西北西二十五哩の地點にあつてパ  
リ・リオン (Paris-Lyons) 鐵道の聯絡驛である。  
聖ジャン (S. Jean) 寺、要塞及び鑛山學校があ  
り、絹糸工場があり蘭及びリボンの取引がある。  
石炭鐵鉛亜鉛及びアスファルトを産する鑛業地  
方の中心地である。製鐵場があり製造品として

は硝子・煉瓦・タイル及び絹布がある。一六二九  
年アレーの平和條約がこの地に締結された時に  
ルイ十八世によつてヒュゲノット (Huguenots)  
の手から奪取された都會である。人口三萬六千  
餘。

アラスカ (Alaska)。北アメリカの西北端にあ  
る一準州であつて合衆國は一八六七年露國より  
七百二十萬弗にて買收したものである。一九一  
二年に準州として認められた。全面積五九〇、八  
八四平方哩であり、人口五萬五千餘。北米の最高  
峰と稱せらるるマッキンリ (Mt. McKinley) 峰が  
あり高さ二萬三千呎である。ユーコン (Yukon)  
河の全長のうち一六〇〇哩はアラスカを流れて  
ゐる。

馴鹿は南部に於ては土人の食料となり商業的  
に最重要なるものは毛皮を供給し得る動物であ  
り大麋 (Moose) 狐・海狸・貂・海豹・川獺の毛皮な  
どは貴重なる商品である。輸出の目的を以て罽  
舘用に捕獲された鮭は六百萬弗以上に達してゐ

る。大麥・オーツ麥・ライ麥・馬鈴薯及びキヤベツを産し國有林は二千百萬エーカーの廣さを有し採鑛物としては金・石炭・石英及びプラチナである。鐵道はシニューウオド (Seward) からフェアバンクス (Fairbanks) に至る線とスカグウエニ (Skag way) からホワイトホース (White Horse) に至る線とがある。

土民に二人種がある。エスキモ一名インヌイト (Inuit) と稱する種族と印度人とである。印度人は内地及び東南部に棲息してゐる。この州は八人の上院議員及び十六人の下院議員よりなる立法機關を有し隔年に首府ジュノー (Juneau) に議會を開く。

大統領によつて任命せられる知事が居りその任期は四ヶ年である。

丁抹の航海者ベリング (Bering) が一七四一年に初めてアラスカを探險し三年後露國の殖民地となつた。

アラツシオ (Alessio)。伊太利のリヅイエラ

(Riviera) にある海港にして保養地。樹木繁茂せる丘陵の麓にありゼノア (Genoa) の西南五六哩であり夏は海水浴場として重要視せられる。冬の氣候も平調を續け爽快である。町は古い町であり美しく多くの英人の訪客を見る。

アルバ・ロンガ (Alba Longa)。拉典都市の最初の都會であり羅馬の母都である。恐らく羅馬の東南十五哩にありアルバン (Alban) 湖上の懸崖上にあつたと推定されてゐる。この都會は傳説によればイーニ阿斯 (Aeneas) の息アスカニアス (Ascanius) が羅馬市の建設される三百年以前に建設したものであると云ふ。

アルバン・ヒルズ (Alban Hills) 伊太利羅馬の東にある火山脈の群。今日モンテ・カヴォ (Monte Cavo) と稱する山は三、一五呎の高さを有し昔はモンヌ・アルビヌス (Mons Albanus) と呼ばれ、羅馬の將軍等が羅馬に凱旋入城を拒絶された時に山頂にある殿堂にまで軍隊閱兵式を行つた場所である。山頂にはアルバノ (Albano) 町

をはじめ多数の都會があり古代の遺跡としては  
チメリアス (Tiberius) カリギユラ (Caligula) 及  
びネロ (Nero) 諸皇帝の別邸があり今日は僧正  
の邸第がある。フラスカチ (Frascati) ゼンザノ  
(Genzano) 及びカステル・ガンドルフォ (Castel  
Gandolfo) がありこゝには法王の宮邸があり城  
がある。アルバン湖及びネミ (Nemi) 湖はその  
南にある。

**アルバニア** (Albania)。歐洲の一王國。バル  
カン半島の西側にある山國であり面積約一七、  
三七四平方哩である。人口は八三三、六一八人  
と算せられ國の大部分は山脈紛糾しボスニア  
(Bosnia) 及びダルマチア (Dalmatia) のアルプス  
山脈の延長であり谿流の灌漑を受け居る低地が  
ある。農業は餘り發達せず家畜及び羊豚は主要  
食糧を供給し、瀝青は輸出され住民の大部分は  
半開的文明の生活を送り種族は言語によつて二  
大別される。一は北部のゲツグ族 (Ghegs) であ  
り一は南部のトスク族 (Tosks) である。主要都

會は首府チラナ (Tirana) ヅラツツォ (Durazzo)  
スクタリ (Scutari) コリツツア (Koriza) エル  
バサン (Elbasan) アールジロカスマン (Argyro-  
kastru) 及びアヴローナ一名ヴァローナ (Avlona  
又は Valona) である。

アルバニアの初期の歴史は不明である。一四  
七八年に土其古の領土となり一九二一—二三年  
に最初のバルカン戦争 (Balkan War) の結果と  
して列強によつて自治國と認められるに至るま  
で土其古に隸屬してゐた。領土の面積は既に一  
八七八年七月伯林條約によつて縮小せられ、一  
九二一—二三年の倫敦會議 (London Conference)  
によつて假設國境を定められて領土を益々縮小  
した。

一九一四年二月二十一日アルバニアの代表は  
グイド (Wied) のプリンス・ウキリアム (Prince  
William) に王位を申出たので、プリンスは一  
九一四年三月七日にヅラツツォに到着した。七  
月二十八日にオーストリアはセルビアに宣戦布

告をなした時プリンスは國際會議委員の大多數と共に自己の公領を去り領民をして自ら治むべく放任した。爲めに國內は無府状態になり二ヶ年半の間擾亂状態を續けてゐた。

一九一七年六月三日伊太利の占據軍の指揮者フェレロ (Ferrero) 將軍は宣言を發表してアルバニアをその保護の下に置いた。オーストリアはこれに應酬してアルバニアを自己の保護國なりと宣言した。兩者の間に戦闘が行はれたがオーストリア軍は九月にモンテネグロ (Montenegro) に退きアルバニア全部は伊太利軍によつて占據せられた。然るに一九一九年に於てエッサド・パシヤ (Essad Pasha) の徒黨が武装的運動を起し獨立を企て伊太利の統治に反抗した。一九二〇年エッサド・パシヤが殺ろされた後にアルバニアの有力者等は合議の結果チラナに於て獨立政府を樹立した。一九二五年には憲法が發布され共和國となつたが一九二八年に大統領アーメド・ベイ・ゾグ (Ahmed Bey Zogu) は國

王となり王國たることを宣言した。最近更に革命的擾亂が勃發したがその結果如何は未だ知ることが出来ない。

**アルバニ** (Albany 又は Alban)。フォルス (Forth) 及びクライド (Clyde) の北に當る蘇格蘭の地方の古名。九〇〇年頃にはフォルス河クライド及びスベイ (Spey) 河の間にある昔ピクトランド (Pictland) と呼ばれた地方を指して斯く稱した。この地は百年間ばかりそれ自身の國王を有してゐたが、後にはスコチア (Scotia) 王國即ち今日のスコットランドの核心となつた。アルバニ又はアルバンの語はアルビオン (Albion) の轉語である。

**アルバニ** (Albany)。西オーストリアの都會。キング・ジョージ・サウンド (King George Sound) と稱する海峡に面し鐵道によつてパーサ (Perth) の東南三五二哩の地點にあり療養地として有名である。その港は西濠洲の最良港の一であるが近來はフリマントル (Fremantle) に

よつて漸次壓倒されつゝある。人口四萬に近い。  
アルバニ (Albany)。南アフリカのケープ州  
の東南部にある地方。チャールス・サマセット  
卿 (Lord Charles Somerset) の政治の間に一八  
二〇年アルゴア・ベイ (Algoa Bay) に上陸した  
三、五〇〇人の移民によつて初めて殖民された。  
この移民は英國政府によつて援助された最初の  
大團體移民であつてカフィール (Kaffir) 族の侵襲  
に反抗する防壘となつた。面積一、六四五平方  
哩。首府はグラムスタウン (Grahamstown) で  
ある。全人口二萬四千。

## 新著紹介

○力學史傳 福本正人著 恒星社發行 定價二圓五十錢

今回福本學士によつて力學史が編纂されたことは誠に慶ば  
しい事であつて、この種の書籍の出現は吾々の久しく待望し  
て止まなかつたものである。著者は若き頃哲學に志し後轉じ  
て力學を専攻されし人であり且つ本著述に参考とされた力學  
書類は何れも古今の一大權威書であること等より、著述の當  
初尋常ならざる用意の拂はれたことを見逃してはならぬ。之

れ亦本書の優れた特色であらねばならぬ。著者は京大宇宙物  
理學教室に職を奉ずる新進の學徒である。本書は西曆紀元前  
數百年の昔のツェーノンに筆を起し現代のプランク、アイン  
スタインに至る迄二千數百年間五十有七人の碩學に關する力  
學史傳を一人に一章をあて、詳細に編算したものである (但  
し今日の新量子論には筆を染めてゐない)。西曆紀元前此の  
かた人智に芽生へた力學 (熱力學及電氣力學等を含む廣い意味  
での) 思想が如何様な試練と變遷を受けつゝ、又如何なる人  
間的な背景に色どられつゝ、一步又一步遂に今日の力學體系に  
まで建設さるゝに至つたかと云ふ力學發展の赤裸々の姿をよ  
く説述したのであり、猶各學者の生ひ立ちの記とその人間  
としての半面を窺ひ得る記事もあつて、燈火の下で靜かに熟  
讀するには好適の書物である。目次の欄には各學者の生涯に  
於ける主な業績やその他の事項が便利にまとめられてあつて  
力學史の概念的内容を一目の中に收め得る。又力學史傳には  
誠に相應はしき多數の版畫や寫眞版が入れられてあつて讀者  
を恍惚の境地に導く。就中ピサの寺院内で燈明の振動を凝視  
せる若き日のガリレイの姿等は正に青年學徒の研究心を燃焼  
せずには置かぬであらふ。

今日物理學の最先端を開拓しつゝある新しい武器は相對性  
理論とエネルギー量子の考へとであつて、將來の問題はこの  
兩者の融合統一にあるべしとは一般の眺むる所の如くである  
が、更に今より數世紀後に、或はツェーノンの昔よりアイン